

需要に応える茶の新品種育成

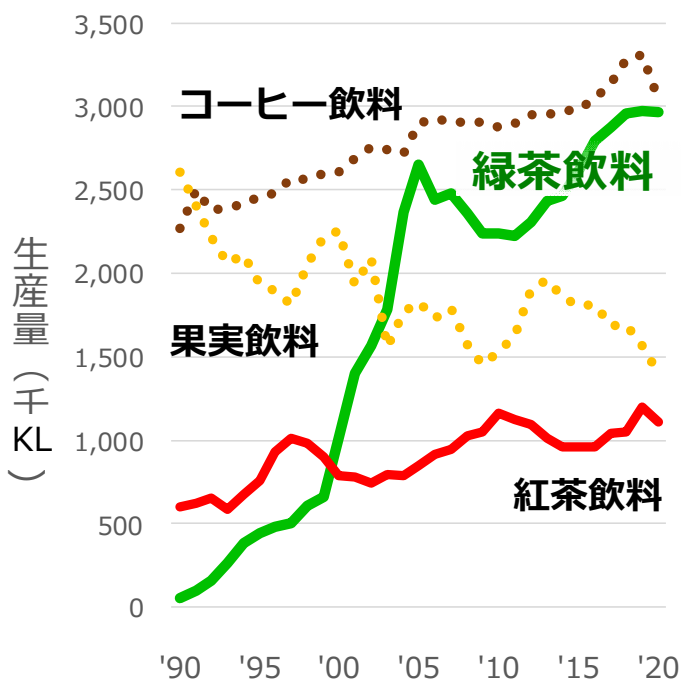


経済産業部 農林技術研究所茶業研究センター

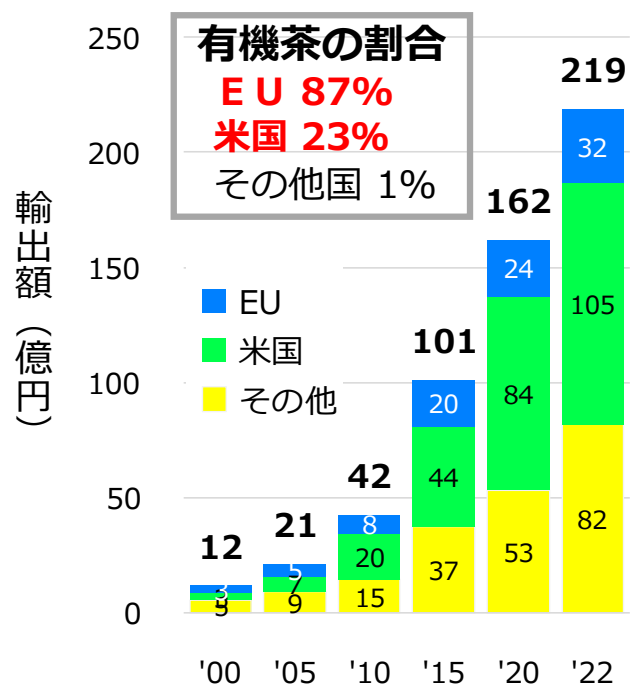
緑茶飲料・輸出が拡大

1

緑茶飲料の生産量が増加



緑茶の輸出額が増加

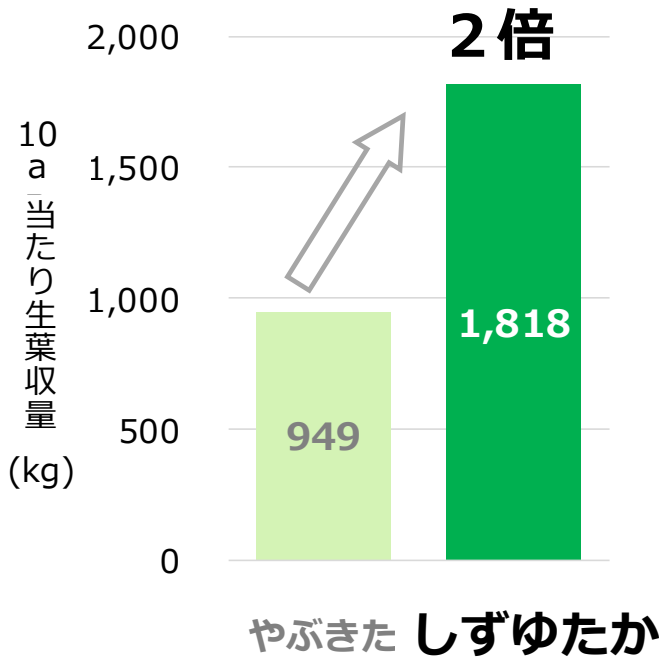


収量が多く、病気に強い品種が求められる

2

超多収・耐病性の新品種「しずゆたか」

収量は「やぶきた」の2倍 たんそびょう炭疽病はほとんど発生しない



やぶきた

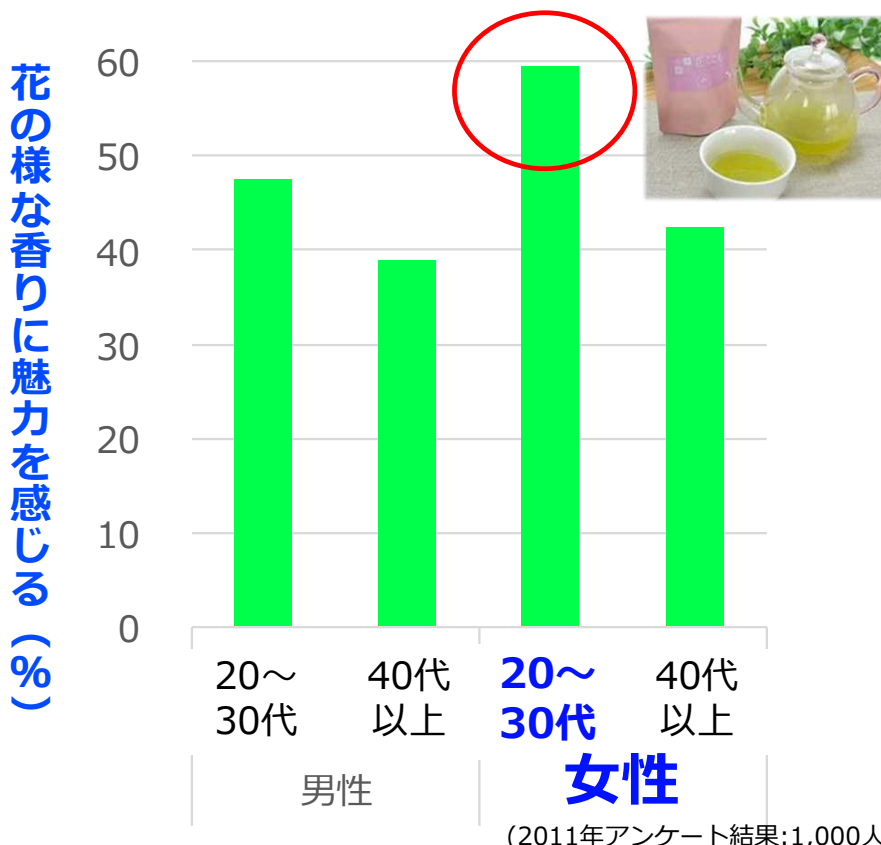


しずゆたか

ドリンク茶、有機栽培に対応

3

若い女性は、花のような香りに魅力を感じる



香り緑茶が好きな若手職員

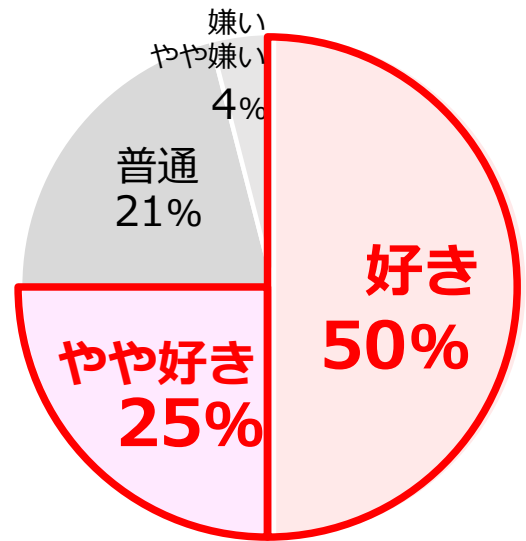
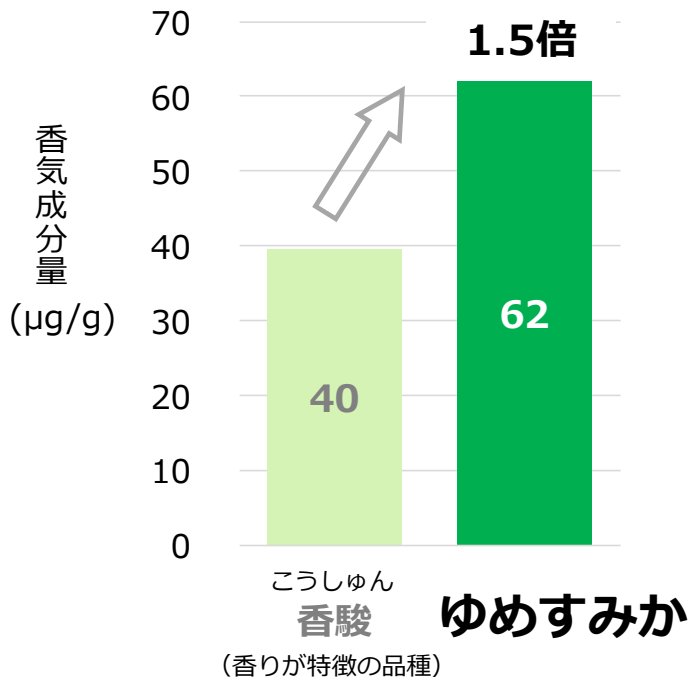
香りに特徴のある品種が必要

4

香りに特徴のある新品種「ゆめすみか」

いちよう
萎凋（萎れ）させることで
スミレのような香りを発揚

「ゆめすみか」
約8割が好き



(第7回世界お茶まつりアンケート結果:207人)

若い女性の嗜好に対応

5

今後の予定

年度	R4	R5	R6	R8頃～
品種	名称公募 (7~8月) 出願申請 (11月)	出願公表 (3月、5月)	品種登録 (予定)	
苗 (経済連等)		許諾契約 挿し木 → 苗販売 (県内限定) (3月)		
茶生産		定植 (3月)		荒茶生産 (予定)

来年3月から苗販売、R8年頃から荒茶生産

6

今後の育種

← 30年 →

〈従来〉



経験

交配親
の選定

個体選抜
(生育・品質・耐病性)

新品種

← 15年 →

〈スマート育種〉

遺伝資源
(約3,000)
ゲノム解析



交配親
の選定

個体選抜
DNAマーカー

新品種

※静岡大学、国立遺伝学研究所と連携

※高機能性品種等
(高カテキン、低カフェイン等)

消費者等のニーズに早期対応 ⇒ 経営強化